



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.32

Edition September 14th, 2016

パラリンピック視察

クレイブンIPC会長と会談

9月4日(日)～12日(月)、パラリンピック視察のためリオデジャネイロに出張しました。WKFが昨年11月に国際パラリンピック委員会(IPC)に正式加盟したことを受けて、エスピノス会長、オリンピック・パラリンピック担当コミッショナーのワイガート理事と共にIPCから招待を受けました。

フィリップ・クレイブンIPC会長(イギリス)と初めて会談し、じっくりと意見交換ができたほか、開会式、射撃競技および柔道競技を見学しました。

IOCと異なりIPCには開催地提案の追加種目を実現したアジェンダ2020にあたる制度がない中、2024年以降を見据え空手のパラリンピック採用をどのように推進していくかが課題となっています。

Para-Karate

WKFでは障がい者空手を Para-Karate(パラ空手)と呼称することで統一し、本年10月にはオーストリア・リンツにて第2回世界障がい者空手道選手権を開催します。前回大会(2014年、ブレーメン)では視覚障がい・知的障がい・車椅子の3種目を実施しましたが、本年はIPCの規則に則り、前回大会よりも出場要件に関わる障がいの分類が若干厳しくなっています。

また、本年の世界大会には国連のレムケ事務総長特別顧問(スポーツ担当)や、IOC、IPCの関係者を招待する予定で、2024年オリンピック・パラリ



左から奈藏、エスピノス会長、クレイブンIPC会長、ワイガート理事。

ンピックを見据えて出来る限り空手の素晴らしさを訴えていきます。

パラリンピックへの道はオリンピック以上に険しい、という感触が正直なところではありますが、クレイブン会長との会談を空手のパラリンピック・キャンペーンの本格的スタートと位置付け、引き続き取り組んでいきます。

世界空手連盟 事務総長

奈藏 稔ス

出張スケジュール

9月16日(金)～20日(火) ニューカレドニア
オセアニア空手道選手権大会
オーストラリア空手道連盟訪問

9月20日(火)～25日(日) ドイツ
WKF東京2020準備委員会ミーティング

世界空手連盟 事務総長事務所

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館
電話 03-3522-6673 FAX 03-3522-6675 kobinata@wkf-gs.jp